



移動用リフト

ご利用者様と介助者の能力を十分に利用して、
お互いが安心して安全な移乗を実現しましょう。

移乗の基本はご利用者様と介助者のお互いが安全で、安心して、楽であることです。
人が人を持ち上げたり、強引に立たせたりすることは、決してしてはいけません。

移動用リフト

選ぶ前に知っておきたいこと

ご利用者様が自分でできること、できないことの確認をし、できない場合にはその原因を調べて評価することが大切です。できない理由を探し、できない部分を福祉用具で助けます。それでもできない場合には介助者が支援します。できなければ全介助という発想はやめましょう。介助者が全てを行うのは大きな間違いです。特に介助者が腰痛になりかねない方法は決して採用してはいけません。負担を軽減するために福祉用具があります。福祉用具を利用すればできなかったことができるようになり、介助者が必要な場合でも楽に安心して安全に移乗することができるようになります。移乗用具はなければ生活が成り立たなくなるほど大切な道具です。

移動用リフト

選び方のポイント・目安

ポイント① 立位がとれる場合

立位の状態で足を踏み換えることができるかがポイントです。できない場合には立位を維持し、回転を助ける方策を考えます。

ポイント② 立位が不安定な場合

立位をとるためと維持するための用具と、介助者の介助の仕方が大切です。ご利用者様の重心を前方に誘導し、ひざが折れないような配慮を考えます。

ポイント③ 立位がとれず、座位が安定している場合

座位ですべりながら移乗する方法を考えます。ご利用者様の身体機能によって利用する用具を考え、個々にあった移乗方法を考えます。ひとりひとり異なる用具、方法を提案しましょう。

ポイント④ 座位が不安定な場合

ご利用者様がずっこけ姿勢になっていない場合には、介助者の力を借りて座位移乗することもできます。

ポイント⑤ 持ち上げなければ移乗できない場合

リフトを使用します。

ポイント⑥ 屋外への段差がある場合

段差解消機は歩行補助用具を利用する人から車いすの人まで、幅広く安全に楽に使用することができます。スロープで解決するよりも段差解消機の方が安全で楽に移動できます。スロープは非常時の対策や一時的な対策に利用するものです。



移動用リフト



段差解消機